

キラウエア火山1983年1月からの噴火

須藤 茂 (地殻熱部)
Sigeru Suro

1983年1月3日から始まったキラウエア火山 東リフト・ゾーン上の噴火活動は 1987年12月になっても続いており ハワイの火山観測史上最大級の山腹噴火となっています。一連の噴火では火のカー

テン 500m を超す溶岩噴泉 溶岩池などが出現し また流下した溶岩は 海岸付近の集落を襲い 海中に流入しました。ここにその噴火の概要を記し本文に詳細を紹介します。

写真1→

1983年1月3日 一連の噴火の初日にできた噴火割れ目とそこから流出した溶岩。写真上方は1963年10月の噴火割れ目。写真の下が南。

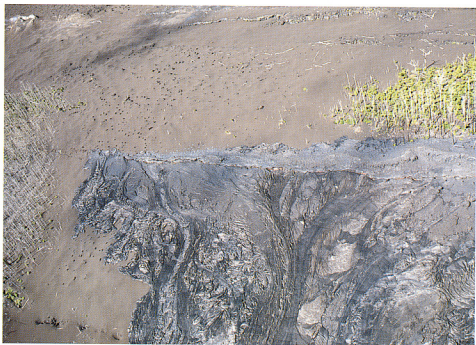


写真2→

西方から見たプウ・オオ(Puu Oo) 1983年6月から1986年6月までの活動の中心。手前から伸びる噴火割れ目の延長上にプウ・オオの噴出口が位置しています。山頂の白いものは雪でしょうか？

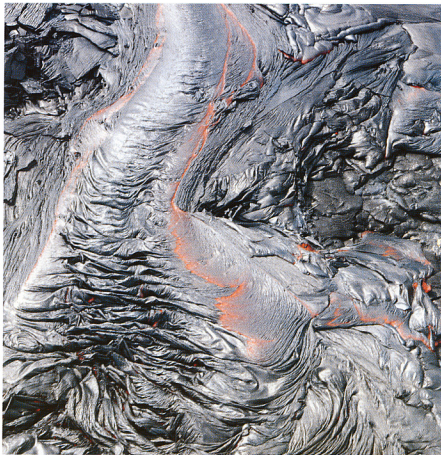




↑写真3 プウ・オオの火孔 1987年1月23日撮影。この火孔からの噴火は1986年6月で終わっていますが、まだ火孔壁の岩石は赤熱状態でした。火孔の左にヘリコプターが見えます。撮影当時の火孔の直径は約10mでした。



↑写真4 プウ・オオ東方約3kmにできたNew Shieldからのパホイホイ溶岩流。1987年1月20日撮影。



一写真5
New Shieldからの溶岩流、
表面に縄状の模様ができつつあ
ります。



一写真6 New Shield山頂の溶岩池。1987年1月20日撮影。表紙の写真と日付が違うので、溶岩池表面の模様が異なっています。溶岩池表面のプレートはどのように動いているのでしょうか？左手前に観測者がいます。



↑写真7 海岸付近の道路を1986年11月に覆ったNew Shieldからのパホイホイ溶岩、写真手前の部分は1987年4月に別の溶岩流によって覆われてしまいました。1987年1月22日撮影。



↑写真8 1986年11月溶岩に囲まれた車、溶岩流は1-2mと薄いのですが破壊的でした。